

あいち農産物生産流通レポート

平成30年12月号

	ページ
◎ 地域トピックス	
・ 阿久比町で「みんなの菊花展」開催 (知多農林水産事務所)	1
・ 豊橋市内の青果卸売市場で「市場まつり」が行われました (東三河農林水産事務所)	2
◎ 東日本情報	
・ 今シーズンの冬キャベツの動向について (東京事務所)	3
◎ 西日本情報	
・ 「あいちの農林水産フェア」を開催しました (食育消費流通課)	5
◎ フラワーページ	
・ 本県産花き輸出に係る海外プロモーション活動について (愛知県経済農業協同組合連合会)	6
・ 「日比谷公園ガーデニングショー」が開催されました (東京事務所)	7
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・ 名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し	10
◎ 花き	
・ 切り花・鉢花の12月の見通し(県内市場)	22

※今月、「情報サロン」はありません。

内容についての問合せ先

愛知県農林水産部食育消費流通課 (052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ (03)-5492-5400

平成29年4月号から、「全国における主要農産物の輸出入実績」、「関連指数」のページはなくなりました。それぞれの情報につきましては、

【輸出入実績】

農林水産省ホームページ内「農林水産物輸出入統計」
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html>

【消費者物価指数】

全 国：総務省統計局ホームページ内「消費者物価指数月報」
<http://www.stat.go.jp/data/cpi/>
名古屋：愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」
<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/bukka.html>

【農作物価指数】

農林水産省大臣官房統計部「農作物価統計調査」
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/>

【名古屋市小売価格】

総務省統計局「小売物価統計調査」
http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_

を御覧ください。

阿久比町で「みんなの菊花展」開催

知多農林水産事務所

平成30年10月30日（火）から11月4日（日）までの6日間、阿久比町立ふれあいの森において、「阿久比町みんなの菊花展」が開催されました。この菊花展は、阿久比町民が丹精込めて育てた菊が一堂に会し、昭和62年の国土庁監修「全国市町村なんでも日本一事典」で、住民参加型の菊花展では日本一と認められました。

1 菊花展の概要

「阿久比町みんなの菊花展」は、菊づくりを通じて町民がふれあいを深め、住みよいまちづくりを推進することを目的とし、昭和55年に第1回が開催されて以来、今年度で39回目を迎えました。

出展の形式は、町内各地区・企業を単位とする団体出品で、今回は14団体から約600人が参加しました。1団体99鉢を指定された菊花がテント内に所狭しと並べられ、会場全体では大輪菊、懸崖菊、福助菊、ドーム菊等、個人展示を含めて約2000鉢が出展されました。

また、11月1日からは会場での福助菊、ドーム菊の販売も行われ、多くの方々が買われていきました。



みんなの菊花展の様子

2 表彰

会場に出展された菊花のうち、茎が力強くまっすぐ立ち、花が大きく、病気や虫害の跡がない優れたものに対しては、知多農林水産事務所担当職員や阿久比町菊づくり専門員が審査し、内閣総理大臣賞、農林水産大臣賞、愛知県知事賞を始め、団体の部・個人の部で合計67の賞が表彰されました。

開催期間中、会場には大勢の方が訪れ、美しい菊花が人々を魅了しました。作り手の菊花への飽くなき情熱を感じ取れ、阿久比町を始め、知多半島が愛知県有数の花き産地であることを大いに実感できる菊花展でした。



表彰式の様子



愛知県知事賞を受賞した菊花

豊橋市内の青果卸売市場で「市場まつり」が行われました

東三河農林水産事務所

1 開催の概要とねらい

豊橋市場まつりは、今年で2年目になり、豊橋地域卸売市場研究協議会（事務局：豊橋市役所、構成員：豊橋市内地方卸売市場の卸売会社等）の主催により、11月3日（土・祝）に大一青果株式会社を会場として開催されました。

この催しは、「地元のおいしいが大集合」と銘打ち、豊橋市民を始めとした消費者に対して、優れた地元農産物を見て、触って、食べてもらい、地元市場と農産物への理解を深める目的で行われ、地元農産物や飲食物販売ブースのほか、「地元生産者とのふれあい」、「地元農産物の生産から消費の中での市場の役割紹介」などのコーナーも設けられました。

2 会場の様子

大一青果豊橋市場内の広い卸売場では、即売ブースが設けられ、地元の野菜、果物が所狭しと並べられました。朝一番の来場者を対象とした模擬ゼリが終了した後は、数多くの青果物が来場者に購入され、瞬く間になくなっていました。

また、カレーや肉じゃがに欠かせない、たまねぎ、にんじん、じゃがいもの「農産物つめ放題」のコーナーには絶えずお客さんの列ができ、一つでも多くの野菜をビニール袋に入れようと頑張っていた様子が印象的でした。

会場内では、市場内での荷物輸送には欠かせない「電動ターレ」の展示も行われていました。先般、東京都中央卸売市場の築地市場から豊洲市場への移転の際にも、列をなして新しく開通した公道を走行しているのが話題になったところです。今回の市場まつりでは、来場した子供たちを乗せる試乗会が行われ、多くの人の関心を集めていました。



市場まつり会場の様子



「電動ターレ」の展示

3 まつり会場でも営業活動「新規掘りおこし」

会場の一面では、青果物の取引に興味のある人をターゲットとした「農産物取引相談コーナー」が設けられ、食料品店や飲食店等を新たに始めようとする人に対して「新たな仕入れルートの相談、紹介（マッチング）」「特徴ある農産物の紹介」「飲食店との取引が得意な仲卸業者の斡旋」などの商談に対応していました。「まつり」の中でも「ビジネス」に余念のない卸売関係者の姿が見てとれました。

今シーズンの冬キャベツの動向について

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

10月31日（水）に、千代田区大手町のJAビルにおいて、JA全農による「重量野菜、調整野菜に係る主産県協議会」が、続く11月6日（火）にはJAあいち経済連東日本営業所による「秋冬野菜京浜地区販売会議」が開催され、秋冬野菜の出荷本格化を前に、円滑な供給及び販売強化に向けた産地と市場関係者との情報交換が行われました。今回は、同会議で検討された、本県主要品目であるキャベツの京浜市場での動向を紹介します。

1 前年作の動向

前年は、10月の天候不順と台風に加えて、11月の極端な冷え込みにより、それまでの豊作ムードが一転し、本来は価格が落ち着く11月から単価が上がり始めました。その後も台風被害の影響や寒さによる生育不良で小玉傾向が顕著となり、単価が上昇しました。年明けに一旦は下げに転じたものの、2月の厳しい寒さとともに再上昇し、気温の緩む3月まで高値が続きました（図1）。

シーズンを通した数量不足と高値基調により、産地では出荷量を減らしたものの販売金額は伸び、一方で小売店や加工業者にとっては数量確保や販売面で非常に苦しい年となりました。結果として多くの輸入品が入り不安定な国内供給を補いましたが、消費者の輸入品に対する抵抗感の低下、業者の輸入品利用の定着などが今後懸念されます。

2 本年作のここまでの経過

本年は、8～9月の播種・定植時期に高温干ばつと台風による被害があり、各産地で生育遅れや葉の萎れ、枯死などが散見されました。特に本県を含む太平洋沿岸産地では、9月30日に本州に上陸した台風24号による広範囲での塩害が報告されており、年末年始に向けての入荷への影響が懸念されました。

なお、10月の単価は、夏以降に野菜全般が高値基調だったことに加え、前年の欠品の記憶が新しいことも手伝い、「80円/kg以上」の高値が維持されました。その後は11月に入り、群馬県産の最終盤と遅れていた関東近郊産地の入荷が重なり、入荷増の単価安となったことで、小売での荷動きは回復に向かっています。

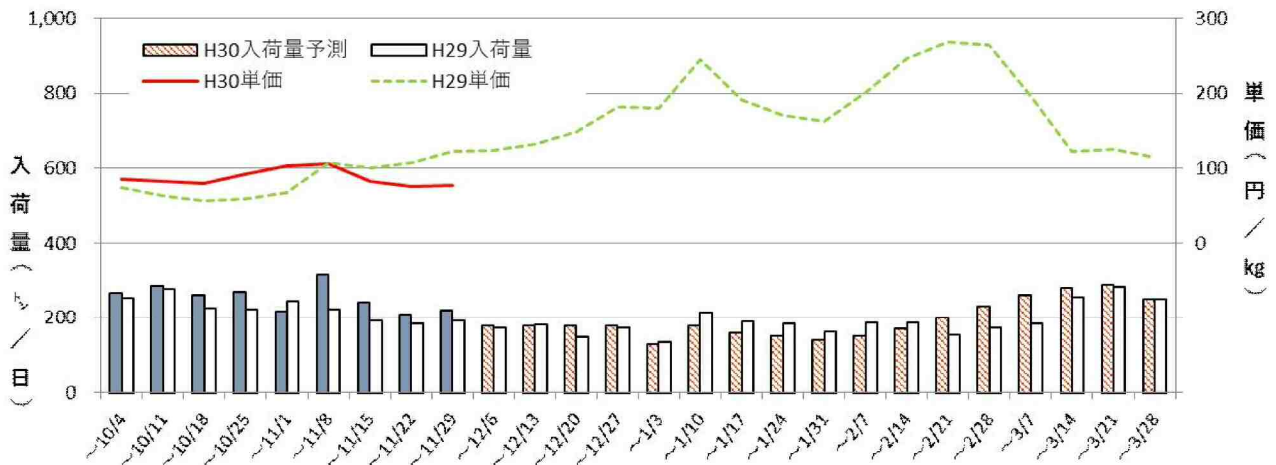


図1 キャベツの入荷量及び単価推移

3 今後の入荷見通し・予想

各産地の報告によれば、10月以降の高い気温と適度な降雨により、台風24号の被害は順調に回復しており、外葉の傷みや植え替え後の生育も良好なことから、当初懸念されていた極端な入荷不足は回避される見込みです。

しかし、11月上旬時点では生育遅れが目立っており、年末に遅れた分の生育回復に伴う入荷の集中が起これば価格が下落して厳しい市況も予想されます。一方、年明け以降では、台風による塩害で苗の植え替えをしたために、この時期に出荷される予定のキャベツの作付けが少なく、一時的に品薄状態となることが予想されています（表1）。

秋冬野菜京浜地区販売会議では、本県産地の対応として、生育遅れ(小玉傾向)により現時点の出荷量は平年を下回っているが、今後は生育の回復をにらみながら年内の出荷分を確保し計画出荷に努めていくことが伝えられ、産地と市場担当者が例年以上に連絡を取り合っていくとの方針が示されました。

表1 京浜市場のキャベツ見通し

【平成30年11月～】

- ① 年内入荷分は概ね必要量が確保されるが、集中すれば価格面で厳しい場面も
- ② 年明け以降（1月下旬～2月中旬）は、台風の影響で一時的に入荷不安定に
- ③ 暖冬となれば、植え替え分の前進出荷が進み上記期間は短縮も
- ④ 高値・欠品を警戒し、加工用を中心に輸入量は増える見込み

4 輸入品の動向

平成30年の野菜全般の輸入量は、10月末の時点で70万トンを超えており、年間輸入量は平成17年以来の100万トン超えが予想されています。キャベツでも加工業者を中心に前年のような欠品・高値を警戒し、自衛のための輸入品確保の動きが始まっています。

輸入品の増加に対する懸念は市場内にもあります。国内産の入荷が不安定な以上、それを改善する手立ては限られますが、市場としても輸入品への抵抗感の消失や定着は避けたいところです。これまでの京浜市場への入荷実績や市場との密な情報共有を行ってきた愛知への「安定供給」に対する期待はより高くなっています。

5 県産野菜の有利販売に向けた今後の取組

秋冬野菜京浜地区販売会議では、キャベツのほかトマト類や洋菜などの主要な秋冬野菜についても検討されました。

県産野菜の安定供給と有利販売に向けた検討は、京浜地区の卸売会社31社とJAあいち経済連東日本営業所、愛知県東京事務所農産物プロモーショングループで構成される「京浜市場愛知県野菜連絡会」の各品目検討会に引き継がれます。品目検討会では、JA担当者も加わって定期的で開催される県内産地調査や競合産地調査、品質査定会などを通して、年末や厳寒期～春先に向けた生育状況の確認ならびに入荷動向の検討などを行い、市場関係者との情報共有を強化していきます。



秋冬野菜京浜地区販売会議

「あいちの農林水産フェア」を開催しました

食育消費流通課

本県の新鮮で、安全・安心な農林水産物や、県産食材を活用した加工食品を県民の方々に広く紹介する「あいちの農林水産フェア」を、11月23日（金・祝）、24日（土）の2日間、名古屋市中区金山の金山総合駅イベント広場で開催し、12,000人余に御来場いただきました。

1 県産農林水産物及び加工品の紹介・販売

31の企業・団体が出展し、ぎんなん、みかんなどの旬の農産物を始め、名古屋コーチン肉まんや白いちじくを使った和・洋菓子など、“あいち産”にこだわった県産品を数多く紹介・販売しました。

会場では手軽にあいち産の食材を味わえるお弁当やおにぎり、名古屋コーチン焼きそば等も販売し、おいしさを味わっていただくことができました。



あいち産の食材を使ったおにぎり

2 楽しく学べる主催者企画

日替わりイベントでは、ダイコンや国産はちみつを食べ比べ、マイ箸作りなどの体験企画を行いました。

愛知県食育推進ボランティアが行った『食育の広場』では、「豆つかみゲーム」や「食育クイズ」が行われ、かつお節削り体験には、初めてかつお節を削る若い世代の方や、昔を懐かしむ方々が参加しました。会場内には笑顔があふれ、いずれの企画も好評でした。



食育の広場（豆つかみゲーム）

イベント広場には、毎年この農林水産フェアを楽しみに来てくださるリピーターの方が多く見受けられました。

当フェアは、生産者と消費者が直に触れあい、より結びつきを強める場であるとともに、本県産の農林水産物の良さを知っていただくための絶好の機会となっており、県民ニーズの高いイベントとして定着しています。



会場の様子

本県産花き輸出に係る海外プロモーション活動について

愛知県経済農業協同組合連合会

J Aあいち経済連は、平成 30 年 1 月 16 日・17 日にアメリカニューヨークで実施された海外バイヤー向けの日本産花きのプロモーション活動に参加しました。

プロモーション活動は、ニューヨーク 28 丁目の花間屋街を会場に、(株)なにわ花いちば、佐賀県、長崎県、徳島県との合同開催で行いました。

本県産花き 9 品目 33 品種を展示し、ニューヨークのフローリストや卸業者バイヤーなどに PR しましたので紹介します。

1 出展内容およびフローリスト等の評価

展示した花きは、スプレーバラ、トルコキキョウ、サマースイートピー、スイートピー、デルフィニウム、グロリオサ、カラー、菜の花、クジャクヒバです。

既にアメリカ向けに輸出しているグロリオサ、スイートピー、デルフィニウムは、認知されつつあり、日持ちがする、ステムが長い、ボリュームがあるなど、品質評価も高いものでした。

また、現地で未流通であるスプレーバラのオリジナル品種や菜の花も来場者の注目を集めました。

日本産花きは、現地では国内流通価格の 2 ～ 3 倍で取引されています。主にパーティ装飾等に使用されており、富裕層向けのマーケットがターゲットとなっています。

日本産花きは品質が高いが、注文ロットに対応できないなど、注文に対する充足率が低いことを課題として挙げるフローリストもいました。

また、水揚げ方法やどれくらい日持ちがするのか、咲かせるコツなど商品そのものの特性などの情報発信を要請する声も聞かれました。



展示された日本産花き



プロモーション会場の様子

2 今後の取組

アメリカでのプロモーション活動では、海外で評価される品目・品種は未知数であることを実感しました。

今後も関係機関と連携しながら、国内外の展示会などプロモーション活動を継続的に実施し、本県産花きの PR に努めていきます。

「日比谷公園ガーデニングショー」が開催されました

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

平成 30 年 10 月 20 日（土）から 28 日（日）にかけて、「第 16 回日比谷公園ガーデニングショー2018」（主催：日比谷公園ガーデニングショー実行委員会）が千代田区の東京都立日比谷公園で開催されましたので、概要を紹介します。

1 日比谷公園ガーデニングショーとは

このイベントは、日比谷公園から「花と緑・環境」のメッセージを発信するとともに、都市における「花と緑のライフスタイル」を提案することを目的に、平成 15 年に日比谷公園の開園 100 年を記念して開催されて以降、本年で 16 回目を迎えます。

会場では、ガーデンコンテストとして、「コンテナガーデン部門」などの 4 部門の作品が展示されたほか、花苗の配布やガーデニング関連グッズの販売など多数のイベントが行われていました。



ガーデニングショー会場の様子

2 会場内の様子

会場では、テント内での花の即売やフラワーアレンジメント教室など、園芸に興味を持つ人向けの催しが開かれ、多くの来場者で賑わっていました。一方、来場者の内訳は中高年の女性为中心で、若い客や男性客が少ないことはやや残念でした。

レジャー白書によると、余暇活動のうち「園芸、庭いじり」の参加人口は、平成 19 年の 3,050 万人から平成 29 年の 2,330 万人と、この 10 年で約 4 分の 3 に減少しており、園芸需要の維持・拡大には、若い人や男性を取り込む必要性が考えられます。

こうした中で、今回のガーデニングショーでは、大学生や高校生の作品がコンテストに出品されていたり、ガーデンコンテストの写真を撮ろうと大きなカメラを持ち歩いた男性の姿も見られました。

花きの需要拡大のためには、こうしたイベントにも、若い人や男性に興味を持ってもらえる展示や、実際に花や緑に触れ園芸を楽しんでもらえる取組を組み込んでいく大切さを感じました。



大学生によるガーデンコンテスト作品
(コンテナガーデン部門)

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 % 台以下
 わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：れんこん）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
29年実績	2, 277	1, 335 (59%)	502	527 茨城(37%) 熊本(4%)
30年見通し	2, 500	—	460	—
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知、茨城を中心に入荷する。愛知の前年作は台風や悪天候の影響により入荷減となったが、本年の生育状況は良好で順調な入荷が続く。茨城の作柄も順調。ここまでの市況は入荷増の価格安で推移しており、今後も同じ傾向が続くとみられる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>		<p>茨城では水田作からの転作によりれんこんの作付面積が増加傾向にある一方で、愛知は高齢化などから作付けが減少傾向にあるが、近郊産地として県内産に対する需要は強い。 担い手不足が問題となる情勢ではあるが、栽培面積の維持や後継者確保による出荷量の維持をお願いしたい。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：サニーレタス）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
29年実績	9, 983	414 (4%)	326	426 長野(45%) 茨城(24%) 福岡(11%)
30年見通し	10, 500	—	320	—
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>サニーレタスの総入荷量は年々増加傾向にあり、福岡や兵庫、香川などで作付面積が増加している。9月の曇雨天や台風等により生育は遅れ気味となっていたが、10月以降の好天と気温高で回復が進む。レタス類全般として肥大が進み、入荷増の単価高となっている。暖冬傾向が続けば、単価は低く推移するか。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並となる見込み。</p>		<p>サニーレタスは業務需要のウェイトが高いことからシーズン契約などの取引が年々増加傾向にある。より一層の安定入荷が期待されることから、生産量の維持をお願いしたい。 品質に関しては、他産地の生産技術が向上しており、これまでの安定した出荷を維持しつつ、生産者間におけるボリューム感や色づき具合などの格差是正に努めてほしい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し

名古屋市中央卸売市場

※グラフは白抜き箇所が見通しとなります。

11月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)				
				上旬	中旬	下旬		
野菜計	25年	35,377	216	186	213	239	北海道	32%
	26年	33,387	241	230	227	271	愛知	20%
	27年	36,624	218	186	216	243	茨城	14%
	28年	35,204	237	235	238	234	長野	4%
	29年	35,140	268	247	246	315	長崎	3%
	5ヵ年平均	35,146	236	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	30年見通し	34,100	225	—	—	—		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>北海道、愛知、茨城などが中心となる。前年は10月の台風等により下旬以降の価格が急騰した。本年も9月に台風や日照不足の被害を受けたが、その後は高温と好天に恵まれ、回復傾向にある品目が多い。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>								
だいこん	25年	2,183	85	89	85	88	千葉	49%
	26年	2,247	63	57	58	79	愛知	23%
	27年	1,803	60	58	67	64	神奈川	9%
	28年	1,720	94	99	98	90	鹿児島	5%
	29年	1,780	155	134	151	191	静岡	5%
	5ヵ年平均	1,946	90	86	90	101	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	30年見通し	1,900	95	90	95	100		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>千葉、愛知を中心に入荷する。千葉は台風による塩害で入荷減の予想だったが、その後の好天により潤沢な入荷状況。愛知も台風被害から回復基調にあり、全体として12月は平年並の入荷となる見込み。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>								
にんじん	25年	2,083	145	151	157	170	愛知	66%
	26年	2,114	92	92	87	103	北海道	11%
	27年	1,957	105	103	103	112	岐阜	9%
	28年	1,929	133	137	145	120	長崎	5%
	29年	1,997	135	134	118	163	千葉	2%
	5ヵ年平均	2,016	122	123	122	134	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	30年見通し	1,800	130	130	130	130		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>愛知を中心に入荷する。愛知は台風による塩害や蒔き直しの影響で、年内から1月は入荷減が予想される。一方で、10月以降の好天や暖冬予想から、高温が続いた場合は年末頃には入荷増となる可能性もある。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>								

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

11月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	25年	131,973	260	242	250	289	茨城 20%
	26年	137,555	241	195	238	290	千葉 19%
	27年	139,108	223	207	214	246	北海道 15%
	28年	132,314	272	266	265	284	愛知 7%
	29年	124,957	314	280	295	364	神奈川 5%
	5ヵ年平均	133,181	261	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	134,000	220	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、千葉などの関東産地を中心に入荷する。本県産はキャベツ、トマト等の入荷が本格化する。秋の好天により概ね生育良好で入荷は潤沢。一部品目で、切り上げりの前進や貯蔵量の不足から品薄感がでる。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値となった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
だいこん	25年	13,801	85	81	80	92	千葉 50%
	26年	14,661	57	46	50	75	神奈川 41%
	27年	13,190	53	47	54	56	青森 2%
	28年	13,111	90	88	91	92	鹿児島 2%
	29年	10,880	151	128	139	186	茨城 2%
	5ヵ年平均	13,129	84	76	80	97	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	13,000	60	55	55	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、神奈川からの入荷が中心となる。台風後に好天が続いたことで回復しており11月以降の気温高も肥大を促す。出荷量は平年並に調整される見込みだが、前月の入荷増でしばらくは厳しい展開が続くか。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年の半値以下と、大幅に下回る見込み。</p>					
にんじん	25年	8,551	156	148	144	175	千葉 82%
	26年	9,786	94	85	90	107	埼玉 6%
	27年	9,960	94	96	90	95	茨城 5%
	28年	8,470	148	149	140	154	香川 2%
	29年	8,622	133	124	129	145	中国 2%
	5ヵ年平均	9,078	123	119	117	133	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	8,900	150	140	150	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉を中心に、埼玉、茨城などから入荷する。11月半ばまでは北海道の生育不良により入荷を減らしたが、後半から12月にかけて出揃う関東産は台風の影響から回復しており潤沢な入荷が見込まれる。入荷量は前年をやや上回り、価格は下げ基調も前年をかなり上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

11月15日現在

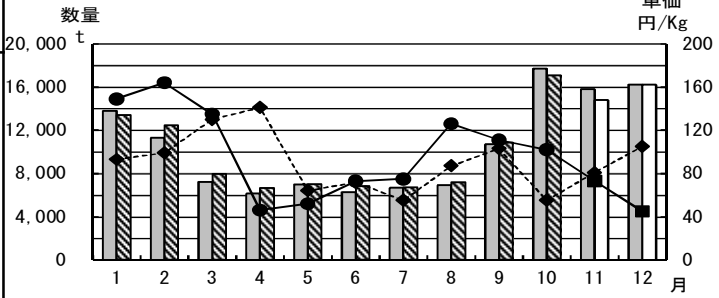
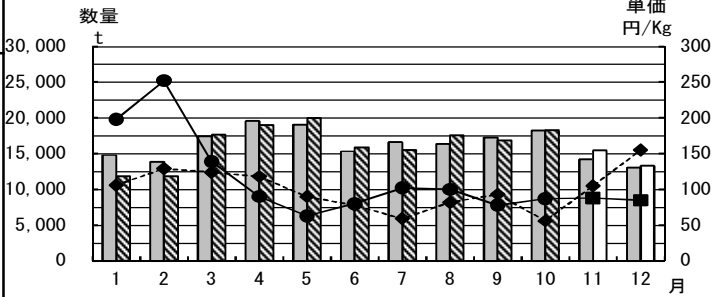
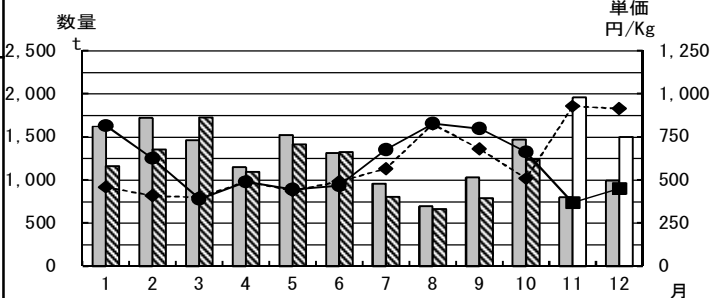
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	25年	3,374	77	70	76	88	茨城 72%
	26年	3,864	48	44	46	56	愛知 19%
	27年	3,179	48	42	47	56	兵庫 4%
	28年	3,231	101	98	97	109	岐阜 2%
	29年	3,725	138	125	132	156	大分 1%
	5ヵ年平均	3,475	83	76	80	94	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	3,500	80	70	80	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、愛知を中心に入荷する。台風等の影響で不作が予想されていたが、10、11月の好天で入荷量は平年並まで回復するか。愛知は台風被害に加え、キャベツへの移行もあり、入荷減が見込まれる。入荷量は前年をかなり下回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
キャベツ	25年	3,423	142	130	135	161	愛知 54%
	26年	3,555	75	59	78	87	茨城 26%
	27年	3,488	53	61	54	49	北海道 13%
	28年	3,449	104	105	108	102	滋賀 4%
	29年	4,035	134	131	144	182	兵庫 1%
	5ヵ年平均	3,590	102	98	105	118	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	3,500	100	80	100	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に茨城などからも入荷する。愛知は台風や長雨で生育が遅れたが、10月以降の好天で回復傾向。12月の入荷は平年並に戻る一方、台風被害による植え替えの影響で年明けは入荷減も予想される。入荷量は前年をかなり下回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	25年	284	560	576	553	584	愛知 51%
	26年	317	525	396	563	702	茨城 19%
	27年	277	478	450	507	522	福岡 8%
	28年	354	472	484	507	471	岐阜 8%
	29年	181	980	909	959	1,063	群馬 7%
	5ヵ年平均	283	568	531	587	631	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	320	450	450	450	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に茨城などからも入荷する。愛知は台風と長雨で生育が遅れたが、その後の好天で回復し、11月入荷が急増した。12月も順調な入荷が見込まれ、暖冬予想もあり前倒し傾向となるか。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

11月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	25年	15,181	69	61	67	77	茨城 96%
	26年	14,618	34	32	33	38	群馬 2%
	27年	13,709	33	31	32	35	兵庫 1%
	28年	14,745	83	77	79	93	
	29年	16,244	105	95	98	120	
	5ヵ年平均	14,899	66	60	63	74	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	16,200	45	40	45	50	
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城を中心とした入荷となる。秋の好天により生育良く肥大が進む。入荷は平年を上回ると見込まれ、これまでの高値疲れや気温高により動きは鈍く、価格は厳しい展開が予想され、滞荷気味の情勢。 入荷量は前年並となり、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>						
キャベツ	25年	12,158	140	130	136	152	愛知 49%
	26年	12,921	77	58	80	94	千葉 27%
	27年	14,171	56	62	56	50	茨城 12%
	28年	14,178	112	109	114	114	神奈川 8%
	29年	13,077	155	128	145	191	群馬 1%
	5ヵ年平均	13,301	107	97	105	119	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	13,300	85	85	85	85	
べ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知、千葉を中心に関東産地からの入荷となる。主力産地は台風による生育遅れや小玉傾向から軒並み回復。産地により入荷ペースはまちまちで、今後の出方に不安が残る。 入荷量は前年並となり、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>						
ほうれんそう	25年	1,479	559	535	533	606	群馬 37%
	26年	1,735	495	366	502	656	茨城 32%
	27年	1,642	445	426	472	440	千葉 10%
	28年	1,703	473	480	482	459	埼玉 9%
	29年	991	913	829	859	1,028	栃木 8%
	5ヵ年平均	1,510	547	499	544	604	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,500	450	400	450	500	
そ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>群馬、茨城、千葉など関東近郊産地からの入荷が中心となる。好天により前進化が進み、11月には潤沢な入荷となった。切り上がりも早まって12月は数量を減らすも、価格に反映するのは下旬以降か。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

11月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)			
				上旬	中旬	下旬	
ねぎ	25年	1,159	385	362	354	441	長野 19%
	26年	1,231	380	321	372	445	静岡 17%
	27年	1,259	370	370	354	395	大分 12%
	28年	1,196	408	398	395	433	群馬 11%
	29年	1,182	448	443	426	481	鳥取 9%
	5ヵ年平均	1,205	398	378	380	438	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,200	410	400	400	430	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野、静岡などの各産地から入荷する。長野が終盤に入り、静岡や大分などに産地が切り替わる。愛知は台風被害を受け、生育遅れや収量減のほか、葉の折れや曲がりによる秀品率低下も予想される。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
しそ	25年	1,630	318	289	289	368	兵庫 34%
	26年	1,749	285	170	298	397	茨城 17%
	27年	1,871	205	182	212	228	熊本 11%
	28年	1,802	235	272	230	215	長崎 11%
	29年	1,288	554	462	486	678	静岡 10%
	5ヵ年平均	1,668	304	263	291	357	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,800	230	180	220	270	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>兵庫を中心に茨城などからも入荷する。茨城は上旬に終了し、兵庫に加えて静岡、熊本などに産地が切り替わる。前年は台風や天候不順の影響で不作となったが、本年は順調な入荷が見込まれる。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
きゅうり	25年	1,165	369	331	337	484	愛知 53%
	26年	1,026	475	346	504	613	宮崎 17%
	27年	994	490	308	334	352	高知 16%
	28年	1,031	446	440	433	466	鹿児島 12%
	29年	1,029	492	475	492	507	
	5ヵ年平均	1,049	452	379	418	485	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,060	400	350	400	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に宮崎などの西南暖地からも入荷する。愛知は台風被害が若干あったものの、収穫への影響は少なく、順調な入荷を見込む。他産地も順調で、大きなピークはないが安定した入荷となる見通し。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

11月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	25年	6,717	297	281	270	337	千葉 24%
	26年	6,982	292	256	290	325	茨城 16%
	27年	6,519	316	315	300	327	埼玉 15%
	28年	6,159	363	364	347	377	群馬 12%
	29年	6,041	391	414	359	403	栃木 8%
	5ヵ年平均	6,484	330	323	312	352	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	6,000	300	300	300		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉県を始め関東近郊産地からの入荷が中心となる。各産地とも台風による葉折れがみられる圃場もあるが、大きな影響はない見通し。はくさい同様に気温高で鍋などの需要が細いことが不安材料。 入荷量は前年並となり、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
し	25年	6,997	323	294	305	364	静岡 26%
	26年	7,282	280	157	298	389	茨城 23%
	27年	8,135	201	186	207	208	長崎 11%
	28年	8,575	233	266	224	212	兵庫 7%
	29年	5,186	547	469	482	667	香川 7%
	5ヵ年平均	7,235	298	261	288	341	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	7,500	180	150	170	220	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、茨城、長崎などから入荷する。現状は好天続きで玉肥大が良く、入荷潤沢で価格を下げている。産地には次の出荷分も控えており、今後も順調な入荷を見込む。 入荷量は冷え込みで量を減らした前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
きゅうり	25年	4,703	391	347	349	489	宮崎 35%
	26年	4,249	498	371	528	601	千葉 20%
	27年	4,260	522	556	447	561	埼玉 16%
	28年	4,490	464	461	449	483	高知 14%
	29年	4,228	523	497	529	541	群馬 9%
	5ヵ年平均	4,386	478	445	458	533	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	4,400	450	420	440	490	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>宮崎、千葉、埼玉、高知など、西南暖地と関東近郊の冬産地からの入荷が変わる。各産地とも台風の影響も払拭し順調な入荷が見込まれる。一部産地で病害虫の報告もあるも、安定した入荷となる見通し。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

11月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	25年	339	455	462	455	464	熊本 46%
	26年	312	444	427	441	486	愛知 45%
	27年	367	417	398	423	430	高知 7%
	28年	342	442	441	447	439	福岡 1%
	29年	257	564	542	591	561	
	5ヵ年平均	323	459	449	465	471	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	320	420	420	420	420	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知を中心に入荷する。前年は台風等の影響で入荷が大きく落ち込んだ。本年は夏の猛暑や、9月の台風及び日照不足により出だしが遅れていたが、10月以降の好天で回復し、順調な入荷を見込む。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ト マ ト	25年	873	427	459	426	406	熊本 40%
	26年	962	360	345	348	389	愛知 34%
	27年	1,044	285	236	280	360	三重 16%
	28年	815	541	681	483	460	岐阜 10%
	29年	868	487	461	465	532	
	5ヵ年平均	912	412	424	394	426	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	900	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、三重、岐阜が中心となる。愛知は猛暑や9月の日照不足により入荷が少ない時期が続いたが、現在の着果状況は良好で順調な入荷見通し。他産地も順調な予想で、高値推移の価格は落ち着くか。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	25年	334	753	834	729	698	熊本 48%
	26年	363	620	594	614	665	愛知 35%
	27年	422	603	423	574	831	宮崎 8%
	28年	333	917	1,021	850	900	和歌山 5%
	29年	360	907	864	932	921	長野 3%
	5ヵ年平均	362	752	731	732	804	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	380	750	700	750	800	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知を中心に入荷する。トマトと同様に猛暑や9月の長雨の影響でこれまでの入荷状況は良くなかったが、好天により回復。今後は順調な入荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

11月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	25年	1,679	531	577	514	497	高知 63%
	26年	1,625	535	485	518	580	福岡 17%
	27年	1,796	492	483	506	488	熊本 8%
	28年	1,827	500	484	535	509	佐賀 3%
	29年	1,496	656	703	756	559	岡山 3%
	5ヵ年平均	1,685	539	542	561	524	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,700	500	480	490	530	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知を中心に福岡、熊本からの入荷となる。好天に恵まれ生育順調で、入荷も安定している。気温が高いせいか病害虫の報告が複数の産地から出ている。大きな問題にはなっていないものの留意が必要か。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値となった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
<p>高知を中心に福岡、熊本からの入荷となる。好天に恵まれ生育順調で、入荷も安定している。気温が高いせいか病害虫の報告が複数の産地から出ている。大きな問題にはなっていないものの留意が必要か。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値となった前年を大幅に下回る見込み。</p>							
ト マ ト	25年	4,540	481	505	483	456	熊本 41%
	26年	5,204	398	375	401	421	愛知 17%
	27年	5,533	332	287	332	385	栃木 15%
	28年	4,423	577	715	532	500	千葉 9%
	29年	4,446	541	513	519	588	静岡 6%
	5ヵ年平均	4,829	458	467	446	465	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	4,800	450	450	450	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本を中心に愛知、栃木から入荷する。多くの産地が9月の日照不足の影響を脱しつつある。平年並の作柄に回復するも、一部は12月上旬頃まで影響が残る。後半は着果良好により大玉比率を減らす産地も。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
<p>熊本を中心に愛知、栃木から入荷する。多くの産地が9月の日照不足の影響を脱しつつある。平年並の作柄に回復するも、一部は12月上旬頃まで影響が残る。後半は着果良好により大玉比率を減らす産地も。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							
ミ ニ ト マ ト	25年	1,563	706	760	708	655	熊本 37%
	26年	1,598	609	573	607	649	愛知 22%
	27年	1,763	573	435	557	769	宮崎 14%
	28年	1,506	886	1,013	796	843	千葉 9%
	29年	1,573	899	840	901	942	静岡 8%
	5ヵ年平均	1,601	729	714	709	771	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,600	720	700	710	750	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、宮崎、千葉からの入荷が中心となる。冬の産地が出揃い、12月の収穫段にも目立った問題がないことから、順調な入荷が見込まれる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
<p>熊本、愛知、宮崎、千葉からの入荷が中心となる。冬の産地が出揃い、12月の収穫段にも目立った問題がないことから、順調な入荷が見込まれる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

11月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	25年	416	450	442	468	518	鹿児島 53%
	26年	428	461	377	476	630	宮崎 34%
	27年	384	505	393	542	593	高知 12%
	28年	428	479	469	520	490	茨城 2%
	29年	369	611	525	642	619	
	5ヵ年平均	405	498	440	526	568	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	400	450	400	500	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
鹿児島、宮崎、高知を中心に入荷する。鹿児島などの西南暖地がやや遅れたため、産地が切り替わる10月に入荷減の単価高となったが、生育状況は良好。12月は各産地とも順調な入荷を見込む。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。							
白菜	25年	2,761	100	113	106	85	北海道 69%
	26年	3,043	92	93	93	90	長崎 31%
	27年	3,267	97	97	100	98	
	28年	2,572	188	190	191	174	
	29年	2,633	114	114	113	115	
	5ヵ年平均	2,855	116	119	118	111	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	2,500	130	130	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
北海道、長崎からの入荷となる。北海道は6、7月の長雨により小玉傾向で、当初の出荷計画に比べて数量減となっている。長崎は11月終盤から入荷が始まるが、小玉傾向との話が聞かれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
たまねぎ	25年	5,249	112	123	125	133	北海道 99%
	26年	6,611	79	83	84	81	
	27年	7,105	66	67	68	68	
	28年	8,414	67	66	70	68	
	29年	7,658	82	84	82	80	
	5ヵ年平均	7,007	79	82	83	83	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	7,000	105	105	105	105	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
ほぼ全量を北海道から入荷する。北海道は当初の出荷計画に比べて下方修正されており、価格は高値推移が見込まれる。加工向けでは、アメリカなどの輸入品の利用も予想される。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

11月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	25年	1,530	458	426	464	489	宮崎 40%
	26年	1,530	459	346	442	624	茨城 27%
	27年	1,371	508	387	553	896	高知 17%
	28年	1,662	479	442	494	510	鹿児島 16%
	29年	1,471	625	543	662	679	
	5ヵ年平均	1,513	504	429	521	632	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,500	470	470	470	470	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>宮崎、茨城、高知、鹿児島からの入荷が中心となる。他品目同様に天候不順、台風の影響を受けたが、現状は回復して潤沢。一方で、切り上がる産地も出てくるため、数量的には落ち着くと見込まれる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
白菜	25年	8,180	111	111	111	112	北海道 80%
	26年	8,861	95	94	93	97	長崎 19%
	27年	8,699	100	98	100	107	群馬 1%
	28年	7,451	189	186	190	191	
	29年	8,146	112	112	111	113	
	5ヵ年平均	8,267	120	118	119	122	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	7,800	130	130	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、長崎からの入荷がほとんどを占める。主力となる北海道は夏場の天候不順により貯蔵品も小玉傾向。同じく小玉傾向だった前年をさらに下回ると見込まれており、価格は平年より高めの展開に。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	25年	9,963	129	125	132	132	北海道 96%
	26年	11,033	86	85	87	89	中国 4%
	27年	11,460	68	71	66	69	
	28年	11,441	75	74	74	76	
	29年	10,884	93	90	94	96	
	5ヵ年平均	10,956	89	88	89	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	10,500	110	105	105	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。北海道は収穫作業が終了しているが、降雨が多く傷みも多いことから、今後の出荷量は当初予想より減少する見込み。大きさはLサイズ中心も地域により差がある。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

11月17日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	25年	11,803	332	298	353	350	愛知 16%
	26年	11,654	337	290	362	381	静岡 13%
	27年	9,997	381	334	399	414	フィリピン 12%
	28年	10,907	370	317	395	415	和歌山 11%
	29年	9,718	429	363	442	475	長野 9%
	5ヵ年平均	10,816	367	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	10,500	370	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	みかん、いちご、りんごなどが主な品目となる。前年はみかんの裏作や台風被害等により入荷量が落ち込んだ。本年も9月の台風で一時期入荷が減少したが回復傾向にあり、12月は平年並に近い入荷を見込む。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年をかなり下回る見込み。						
みかん	25年	6,144	228	216	234	232	静岡 29%
	26年	5,804	205	181	204	234	愛知 28%
	27年	4,359	274	229	280	311	和歌山 23%
	28年	5,128	251	235	254	273	愛媛 5%
	29年	4,332	354	326	354	393	熊本 5%
	5ヵ年平均	5,153	256	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	5,000	270	—	—	—	
みかん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	静岡、愛知を中心に入荷する。前年は静岡の入荷量が大幅に落ち込んだが、今年は平年並を見込む。11月現在は早生の売れ行きは良いが荷余り傾向。また、台風による傷果に加え、高温の影響が腐りが目立つ。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。						
いちご	25年	524	1,806	1,358	1,775	2,272	愛知 62%
	26年	539	1,928	1,309	2,115	2,225	熊本 24%
	27年	603	1,548	1,314	1,511	1,776	鹿児島 6%
	28年	473	1,985	1,527	2,078	2,257	佐賀 3%
	29年	419	2,285	1,667	2,370	2,637	岐阜 2%
	5ヵ年平均	512	1,882	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	480	2,000	—	—	—	
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知を中心に、熊本などから入荷する。愛知は台風による施設被害を受けた地域もあるが、前年に比べると前進傾向か。現在の生育状況は良好で、暖冬が続き寒波もなければ順調な入荷となる見通し。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年をかなり下回る見込み。						

東京都中央卸売市場

11月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	25年	55,770	354	326	372	362	愛媛 27%
	26年	54,751	368	316	381	397	長崎 12%
	27年	52,311	402	357	412	430	和歌山 11%
	28年	53,971	417	370	434	447	青森 8%
	29年	51,507	457	395	471	494	熊本 7%
	5ヵ年平均	53,662	399	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
30年見通し	52,600	440	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>みかん中心にりんご、いちごなどが入荷する。りんごは台風等により数量を減らすも大玉傾向となっている。かきは12月上旬で露地ものが終わり、冷蔵及び袋掛けの「富有」が中心となる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年をやや下回る見込み。</p>						
み	25年	35,413	249	246	249	251	愛媛 40%
	26年	33,133	234	211	394	251	長崎 19%
	27年	30,980	277	258	276	290	和歌山 17%
	28年	33,332	290	288	294	288	熊本 9%
	29年	30,959	342	312	343	361	静岡 7%
	5ヵ年平均	32,763	277	262	310	287	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
30年見通し	33,200	280	270	290	280		
かん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛媛、長崎、和歌山などから入荷する。気温が高かったことで各産地とも出荷が前進し、十分な数量が出回る見込み。着色や食味も良好となっている。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>						
いちご	25年	2,469	1,766	1,402	1,726	2,122	栃木 52%
	26年	2,667	1,946	1,451	1,970	2,287	福岡 14%
	27年	2,936	1,695	1,460	1,606	1,940	茨城 10%
	28年	2,445	2,092	1,704	2,025	2,359	静岡 9%
	29年	2,330	2,215	1,743	2,173	2,593	佐賀 6%
	5ヵ年平均	2,569	1,931	1,545	1,887	2,245	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
30年見通し	2,400	2,100	1,700	2,100	2,500		
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>栃木、福岡、茨城などから入荷する。定植時期に台風の影響があったものの、11月以降は日照量があり現在は順調な生育となる。栃木は前進傾向、福岡や佐賀は若干遅れ気味となっている。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>						

切花・鉢花の12月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 11月30日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	25年	2,914	53	
		26年	2,818	61	
		27年	2,859	58	
		28年	2,872	59	
		29年	2,897	58	
	5ヶ年平均		2,872	58	
	30年見通し		2,650	60	
概要	<p>愛知、沖縄、三重などから入荷する。台風の影響もあり、上位等級の発生が少なく、数量もあまり多くない。前半は業務需要中心の動きで、価格の幅が大きいと思われるが、後半は年末需要で全体的に引き合いが強くなる。</p>				
小 ぎ	実績	25年	2,449	29	
		26年	1,989	35	
		27年	2,427	32	
		28年	2,381	30	
		29年	3,015	30	
	5ヶ年平均		2,452	31	
	30年見通し		2,400	35	
概要	<p>沖縄を中心に愛知などから入荷する。台風被害の影響で上位等階級が少なく、前年より少なめの入荷となる。年末需要で後半からは堅調な動きが見込まれる。</p>				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	24年	1,324	44	
		25年	1,280	48	
		26年	1,227	44	
		27年	1,258	42	
		28年	1,372	47	
	5ヶ年平均		1,292	45	
	29年見通し		1,300	45	
概要	<p>愛知を中心に長野、和歌山などから入荷する。今年は暖地産のスタートこそ遅れたが、11月までの日照条件が良く、例年になく早さで生育している。12月には60cmクラスの物が出て、年末商戦に入るため、活発で価格も安定した販売ができる。</p>				
か す み	実績	25年	154	105	
		26年	180	106	
		27年	249	68	
		28年	182	91	
		29年	169	112	
	5ヶ年平均		187	94	
	30年見通し		180	100	
概要	<p>高知、和歌山、熊本から入荷する。生育は順調で、年末も十分な数があると思われる。前半はやや厳しい販売となるが、20日頃から相場も上がってくる見込み。</p>				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	25年	335	172	
		26年	292	158	
		27年	307	152	
		28年	262	202	
		29年	273	192	
	5ヶ年平均	294	174		
30年見通し	270	200			
概要	<p>オリエンタルは高知、宮崎、埼玉、新潟などから入荷する。鉄砲は高知、鹿児島から、LAは埼玉、高知中心に入荷する。ユリ全体で順調に生育しており、気温にもよるが年末まで安定した入荷となる見込み。年末販売は12/21から始まり、価格は平年並と思われる。</p>				
洋らん	実績	25年	672	105	
		26年	693	100	
		27年	661	83	
		28年	643	94	
		29年	624	104	
	5ヶ年平均	659	97		
30年見通し	625	100			
概要	<p>高知、徳島、鹿児島、静岡、愛知の国産や輸入品などが入荷する。国産のシンビジウムの入荷が本格的になる。年末は全般的に活発な取引が見込まれる。</p>				
ばら	実績	25年	884	77	
		26年	707	100	
		27年	683	87	
		28年	794	74	
		29年	793	78	
	5ヶ年平均	772	82		
30年見通し	780	75			
概要	<p>愛知、岐阜、三重、和歌山を中心に入荷する。前半は週末の日柄が良くなく、引き合いは弱い、後半はクリスマス需要も始まり、赤を中心に引合いが強くなり、堅調な動きとなる見込み。</p>				
枝も	実績	25年	5,154	57	
		26年	5,099	57	
		27年	4,423	55	
		28年	4,659	52	
		29年	4,454	56	
	5ヶ年平均	4,758	56		
30年見通し	4,000	60			
概要	<p>茨城、兵庫、愛媛、和歌山、静岡、長野から年末花材が入荷する。8月の猛暑や台風、高齢化などで季節花材は品薄となり、引き合いは強め。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ	実績	25年	11,165	839	
		26年	8,522	936	
		27年	7,249	1,072	
		28年	8,729	953	
		29年	8,469	978	
	5ヶ年平均		8,827	945	
	30年見通し		8,460	978	
概要	<p>入荷量は前年並か。愛知を中心に入荷する。原木の減少から各産地ともに生産量が減り在庫が少なく、注文中心で商品は動くと思われる。平均単価も前年と同等の見込み。サイズは7号以下が中心で、大鉢は少ない予想。</p> <p>前年12月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位愛知(66.7%)、2位鹿児島(17.8%)、3位三重(5.3%)となっている。</p>				
シャコバサボテン	実績	25年	17,824	382	
		26年	13,693	350	
		27年	7,750	369	
		28年	14,034	437	
		29年	11,926	397	
	5ヶ年平均		13,045	388	
	30年見通し		11,900	398	
概要	<p>入荷量は前年並か。気候も安定しているので、前年のような前倒しになることはない。例年通り前半から中盤に出荷が集中し、後半は品薄になる見込み。</p> <p>前年12月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位愛知(63.0%)、2位埼玉(20.9%)、3位茨城(8.2%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	25年	670,680	417	
		26年	622,950	402	
		27年	574,269	412	
		28年	606,925	411	
		29年	581,607	383	
	5ヶ年平均		611,286	405	
	30年見通し		581,000	382	
概要	<p>入荷量は前年並か。5号サイズの5鉢入(500~600円/鉢)、4鉢入(700~800円/鉢)及び3鉢入(1300~1000円/鉢)の良品の引き合いが一番強い。6号サイズは年々弱くなってきているものの、1800~2500円/鉢の引き合いが強くなる見込み。</p> <p>前年12月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位愛知(26.7%)、2位長野(15.5%)、3位群馬(14.0%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	25年	129,140	2,575	
		26年	125,977	2,319	
		27年	113,376	2,397	
		28年	106,582	2,427	
		29年	105,449	2,289	
	5ヶ年平均	116,105	2,406		
	30年見通し	105,000	2,298		
概要	<p>夏の暑さで11月出荷が遅れているが、天候の影響で不作のため、ほぼ前年並の入荷量となる。立ち本数が少なく、本数の多い良品は品薄になる予想。需要は年内までの見込み。アーチ、大きい贈答品は上旬、通常スタンダード、小型タイプは下旬までに出荷をお願いしたい。前年12月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位愛知(55.2%)、2位徳島(9.4%)、3位高知(7.6%)となっている。</p>				
カラッコエ	実績	25年	39,366	193	
		26年	34,266	207	
		27年	25,394	197	
		28年	29,871	207	
		29年	23,047	194	
	5ヶ年平均	31,579	203		
	30年見通し	23,000	195		
概要	<p>入荷量は前年並か。7～8月の異常高温やその後の日照不足など天候不順のダメージから生産状況は回復してきた。前半は弱含みの動きだが、年末・年始売り需要が中旬以降立ち上がるので出荷調整をしていただきたい。低温期のため咲かせた状態での出荷を望む。前年12月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位岐阜(53.6%)、2位埼玉(42.1%)、3位茨城(3.0%)となっている。</p>				
パンジー	実績	25年	573,244	47	
		26年	473,076	28	
		27年	403,892	42	
		28年	489,381	50	
		29年	552,273	38	
	5ヶ年平均	498,373	41		
	30年見通し	470,000	50		
概要	<p>入荷量は前年よりかなり減少するか。天候不順、台風被害の影響から作付け数は少ないと思われ、価格面は前年より安定する見込み。前年12月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位愛知(33.4%)、2位奈良(23.6%)、3位三重(14.4%)となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.546
平成30年12月発行
農林水産部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434